

# 進 取

一学年通信

2012年4月27日

Vol. 2

発行：福島県立相馬高等学校

第1学年

## ◎積小為大

「3」という数字。入学式より3日目に校歌応援歌紹介があり、翌日より練習が始まった。辛かったという諸君もいたと思うが、全員がその場にいた、そして通過できた。練習後の先輩達は優しかったのではないだろうか。本気になって物事に当たる「至誠」の一面を見たような気がする。そして今日で3週間経った。入学したばかりで、毎日が新しい体験ばかり、脳を猛烈に使って疲れがでてきた3週間だ。この新鮮な体験を継続し、この3学期間を無事乗り切ることができれば、3年間を乗り切ることができる。乗り切ることそのものは目的ではないが、乗り切らなければ達成感はないだろうし、そこに崇高な目的があるからこそ達成感があるはずだ。達成感、他力本願ではなく、自力本願だからこそ感じるのだ。

5月1日に実施予定の若駒強歩大会は、1982年（昭和57）にスタートした。自分が高校3年の秋であった。今年で31年目である。残念ながら震災後の3年間は実施されなかったが、今春卒業した生徒達が1年生の時に経験しているので、生徒間の断絶はない。25kmを歩くのは大変だと思うが、会津高校の中田浜強歩大会は40kmだし、仙台一高は42km、水戸一高は70kmだ。将来行く大学によっては、東京の山手線一周（35km）歩いたりする。これこそ自力本願しかないのだ。幕末の相馬中村藩金蔵院学問所（西山にあった）では、顧問の慈隆和尚が「学校最先」を持論に洋式訓練をとり入れ、スパルタ式で生徒を教育した。その中には相馬から浪江まで走って帰ってくる（64km）ということも課していたようだ。

ずいぶん無茶なことをやっているように見えるが、こういう無茶なことは、社会に出たら日常茶飯事で、残念ながら誰からも守ってもらえないし、誰かが代わりにやってくれるわけでもない。主人公である自分が乗り切るしかないのだ。乗り切る方法を考え、力をかりることは出来ても、最後はやっぱり自分で切り開いていく。そして目的を達成するときには得られる喜びを求めてまた、新しい課題にチャレンジしていく。これは学問研究やスポーツの世界にも言えることで、iPS細胞でノーベル賞を受賞した京大の山中教授や大リーグのイチロー選手の活躍をみてもわかることだ。小さなことの積み重ねが大きな成果につながっていく。

（学年主任：小野田 義和）

## ～お知らせ～

入学前に生徒のみなさんに、修学旅行先に関するアンケートへの回答をお願いしていました。その結果が出ましたので、お知らせします。

関西方面を希望する生徒が125名（62.5%）、北海道が18名（9%）、沖縄が54名（27%）、その他が3名（1.5%）でした。したがって、H25年度入学学年の修学旅行先は「関西方面」と決定しました。この場を借りて、お知らせいたします。

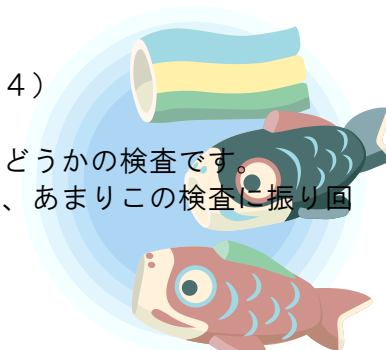
## 行事予定

### 5月

- 1日（水） 若駒強歩大会  
\*約25kmを歩きます！体調を万全に整えて臨みましょう！  
持ち物：ジャージ、運動靴、昼食、飲み物、タオル、雨具等
- 2日（木） 生徒総会（6, 7校時）  
\*自分たちの学校のことを決める、生徒による総会です。相高生としての自覚を持って参加しましょう。
- 7日（火） 創立記念日（生徒休業日）
- 8日（水） 面接週間開始（～14日） 5, 7校時カット  
\*5校時終了後に担任との1対1の面談を行います。  
（若駒強歩大会予備日）
- 9日（木） 面接週間2日目 4, 7校時カット  
火曜日の授業  
\*授業交換により火曜日の授業を行います。  
授業の準備を間違えないように！
- 10日（金） 面接週間3日目 6校時カット
- 11日（土） 土曜開放日  
\*学校で勉強するために、午前8時15分から午後4時まで学校を開放しています。  
ただし、4時には完全下校なので気を付けてください。
- 13日（月） 面接週間4日目 6校時カット
- 14日（火） 面接週間5日目 3, 7校時カット
- 16日（木） 生徒会役員選挙  
\*後期の生徒会運営に携わる人を選出する重要な選挙です。
- 18日（土） 土曜開放日
- 21日（火） 1学期中間考査（～24日（金））  
\*高校入学後初めての定期考査です。計画的な勉強を心がけましょう。
- 25日（土） 土曜特別講座
- 27日（月） 内科検診（1-1、1-2、1-3）  
放射能の話（6校時から）
- 28日（火） 内科検診（1-4、1-5）  
生徒会役員認証式、壮行会（7校時）
- 29日（水） 歯科検診（1-5）
- 30日（木） 歯科検診（1-1、1-2、1-3、1-4）
- 文理適性検査  
\*自分が文系、理系どちらに適性があるかどうかの検査です。  
進路決定の参考にしてください。ただし、あまりこの検査に振り回されないようにしましょう。

### 6月

- 1日（土） 土曜開放日
- 3日（月） 衣替え  
\*夏服に衣替えです。



# 行事紹介

4月には様々な行事が目白押しでした！今回はその中から、「対面式」、「校歌・応援歌練習」、「代ゼミの藤井先生の講演」を紹介します。

## 対面式

先輩たちとの初めての顔合わせです。部活動や局の紹介が行われました。みんな真剣な表情で、舞台に見いていました。



## 校歌・応援歌練習

11日から16日の4日間に渡って、校歌・応援歌練習が行われました。先輩達からの指導にも1年生たちは一生懸命応えていました。最終日には応援団長である笹崎大地くんからねぎらいの言葉がありました。

以下はその時の応援団長の言葉です。保護者のみなさんもぜひお読みください。

### ～応援団長の言葉～

まずはご苦労だった。

初めは一年生の声が小さくて不安だった。しかし、みんなは先輩たちからの厳しい指導に耐えきることができ、その不安もなくなった。

今年は原町高校との定期戦はないけれども、もしあったとしてもきっとお前たちならば大丈夫だ。校歌応援歌練習には、辛い、嫌なこともあったと思う。だがお前たちはそれを乗り越え、勇気を身に付けた。今後の人生にも辛いこと嫌なことはある。そんな時には今回身に付けた勇気、そして校歌・応援歌練習の経験を思い出してほしい。きっとそれらがお前たちの心の支えになるだろう。

最後に歌った校歌は今まで最高の出来だった。感動した。お前らの頑張りは俺の誇りだ。俺たち全員の誇りだ。本日の校歌でもって、お前たちを強く、たくましい相高生として認める。

入学おめでとう。



最後はみんなで輪になって校歌を歌いました。

## 藤井先生の講義

相馬高校には震災後から代々木ゼミナールの藤井健志先生が、「支援」として生徒たちに現代文を中心として「学び方」を教えに来て下さっています。

20日(土)に藤井先生による、現代文の学び方についての1年生に向けての講義を開きました。講義の中で、藤井先生は受験勉強への心構えと、語彙を育成することや学校の授業の大切さなどを生徒たちにお話しになりました。今回は昨年度の卒業生なども参加し、次節笑いが起きる賑やかな講義になりました。普通科理数科合わせて約60名の生徒が参加し、講義に聞き入っていました。

